

### 県政の動き

12月11日(木)～2月10日(火)

- 12月11日(木)～14日(日) ★かごしまアートフェスタ2014
- 12月17日(水) ★観光まごころ県民運動会長表彰
- 12月20日(土) ★エコパークかごしま竣工式
- 12月21日(日) ★東九州自動車道(鹿屋串良JCT)～曾於弥五郎IC(および大隅縦貫道串良鹿屋道路)開通
- 12月22日(月) 御下賜金伝達式
- 12月25日(木) 鹿児島湾新港区一般駐車場供用開始
- 1月9日(金) ★桜島火山爆発総合防災訓練
- 1月14日(水)～15日(木) ゆるキャラリンピック
- 1月15日(木) ★本格焼酎と鹿児島県産品を楽しむタベ
- 1月17日(土)～25日(日) 明治維新150周年プレイベント
- 1月23日(金) ★鹿児島島のタベ
- 1月28日(水) 県・市町合同公売会
- 1月28日(水)～29日(木) かごしまの逸品商談会
- 1月31日(土) ★県工業技術センターふるさとづくり大賞(試験研究機関表彰)受賞
- 2月6日(金)～8日(日) フラワーフェスタインかごしま2015

★は写真入りで紹介

## 12月11日(木)～12月14日(日)

### かごしまアートフェスタ2014



メディアアートをはじめとするアート作品の展示などを通じた地域活性化を図ることを目的に、かごしま県民交流センターにおいて「かごしまアートフェスタ2014」が開催された。

展示会場では、巨大なバルーン作品や人の動きに連動する映像作品など、さまざまなメディアアート作品が展示され、子どもたちをはじめ多くの来場者が楽しみながらアートに触れていた。

また、「アートによる街づくり」をテーマに開催したトークイベントでは、アーティストや文化・観光分野の関係者が語る「アートを取り入れた地域や街の活性化」の話に多くの来場者が関心を寄せ熱心に聞き入った。



## 12月17日(水)

### 観光まごころ県民運動会長表彰



本県を訪れた観光客を温かく迎えるため、まごころのこもったおもてなしやきれいな観光地づくりに功績のあった個人や団体を表彰する「観光まごころ県民運動会長表彰式」が県庁知事室で行われ、当日出席した5人の受賞者に対して伊藤知事から表彰状が授与された。

表彰された6人の個人・団体の方々は、個人で観光スポットの整備や、心のこもったサービスを提供するなど、いずれも観光客の方々が「再び訪れたい」と思う観光かごしまづくりに大いに貢献されており、今後とも本県観光振興のけん引役としてさらなる活躍が期待される。



## エコパークかごしま竣工式



公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」の竣工式が行われた。

エコパークかごしまは、県内で発生している産業廃棄物を県内で処理し、本県における循環型社会の形成や地域産業の振興を図る上で必要であり、また、国内最大規模の埋立地を覆う屋根を有し、二重の遮水シートなど廃棄物に触れた浸出水の漏出を防ぐ多重の遮水機能を備えた安全性の高い、全国でもモデルとなる施設。

県環境整備公社では、今後、万全な維持管理体制のもとで、安心・安全を第一とした施設の運営に努めることとしていく。



## 東九州自動車道（鹿屋串良JCT～曾於弥五郎IC）および大隅縦貫道（串良鹿屋道路）開通



東九州自動車道の鹿屋串良JCTから曾於弥五郎IC（17.7km）と、これに接続する大隅縦貫道「串良鹿屋道路」の笠之原IC（6.1km）までが同時開通した。

大隅半島の骨格となる重要な道路の供用により、鹿児島市、鹿屋市、薩摩川内市、霧島市が高速道路ネットワークでつながることとなり、沿線地域はもとより、県全体の一体的浮揚発展が期待される。

当日は、式典後、鹿屋串良JCTにおいて、地元児童も参加したテープカットや通り初めも行われ、開通を祝った。また、12月13日にはウォーキングなどの開通記念イベントが行われ、約1100人が開通前の高速道路上で楽しいひとときを過ごした。



## 桜島火山爆発総合防災訓練



桜島の大爆発による火砕流や噴石、火災などに加え、鹿児島湾を震源とする地震や津波への警戒を想定した「桜島火山爆発総合防災訓練」を鹿児島市および垂水市で実施した。

当日は、「地域の連携による防災力の向上」をテーマに、県、鹿児島市、垂水市、関係機関など141の団体と地域住民、合わせて約4500人が参加した。

地域住民による島外避難訓練や関係機関による合同救出救護訓練のほか、新たに、外国人観光客の島外避難を想定した訓練も実施した。

また、県庁では知事を災害対策本部長とする災害対策本部会議訓練や情報伝達訓練なども行われた。



## 本格焼酎と鹿児島県産品を楽しむ夕べ



上海市において「本格焼酎と鹿児島県産品を楽しむ夕べ」を開催し、本県からは伊藤知事をはじめとして、鹿児島市、指宿市、霧島市、南九州市の4市長や経済界のトップが、現地からは袁静薩摩大使や流通・観光関係者、メディアなど140人が参加した。

夕べでは、鹿児島島の食材を生かした中華オリジナルメニューを提供するとともに観光ブースを設置しPRを行った。また、夕べに先立ち、新規販路開拓や輸出・取引拡大を図るため、県内から焼酎や菓子、薩摩揚げメーカーなど18社が参加し、中華レストラン関係者との求評・商談会も開催された。

今回の商談会などを通じて、今後、さらに上海市との経済交流が盛んになることが期待される。



## 鹿児島の夕べ



東京都内のホテルにおいて、鹿児島の特産品や観光のPRを行う「鹿児島の夕べ」を開催し、鹿児島にゆかりのある方など約1000人が参加した。

今回は、「昔も・今も・これからも」時代に挑戦する鹿児島〜明治維新150周年に向かって〜」をテーマに、日本の近代化や文化の発展に大きな影響を与えた薩摩藩英国留学生や今秋開催される第30回国民文化祭・かごしま2015を紹介するとともに、本県の安心・安全な食材で「健康」を切り口に農林水産物や特産品、郷土料理などの紹介・提供を行った。

伊藤知事は、大島紬に身を包み、本島の多彩な魅力をPRした。



## 県工業技術センター「ふるさとづくり大賞(試験研究機関表彰)」受賞



県工業技術センターが総務省の「ふるさとづくり大賞」の「試験研究機関表彰」を受賞した。

本表彰は、全国各地でそれぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、豊かで活力ある地域社会の構築を図るもので、今年は全国で26団体、5人が受賞した。

県工業技術センターは、本県の特産品である焼酎について、「地域に根ざした焼酎蔵の個性的な焼酎造り」を実現するために、原料や酵母など選択の幅を広げる研究を実施し、鹿児島の特産の基盤を支えている研究機関として評価された。

